

プログラム

■ 開会の辞 13:15 - 13:20

5分

明海大学 学長 安井 利一

■ I. 基調講演の部 13:20 - 14:20

基調講演 1

「地価公示データからみる 不動産市場の現在・過去・未来」

30分

国土交通省地価調査課地価公示室

基調講演 2

「データで読み解く日米の住宅市場」

30分

住宅金融支援機構 国際・調査部長 小林 正宏 氏

■ II. 研究報告の部 14:30 - 15:45

ストック社会における BIM を用いた 不動産鑑定評価の可能性について

15分

一般財団法人日本不動産研究所 研究部 主任研究員 立石 正則

J-REIT データからみた 不動産キャップ・レートの変動特性

15分

一般財団法人日本不動産研究所 研究部 主任研究員 金 東煥

事業者の質的データによる 不動産ストック有効活用の現状と課題

15分

公益財団法人不動産流通推進センター 研究部 研究員 麻 剣英

居住者の表明選好データを用いた 共同住宅におけるメンテナンスの効果測定

15分

明海大学 不動産学部 准教授 小松 広明

企業会計データからみた不動産の市場構造

15分

明海大学 不動産学部 教授 山本 卓

■ III. パネルディスカッションの部 16:00 - 16:30

■ 閉会の辞 16:30 - 16:35

5分

公益財団法人 不動産流通推進センター 研究理事 三吉 卓也

会場までのアクセス (すまい・るホール)



- JR 総武線水道橋駅西口下車 徒歩 3 分
- 都営地下鉄大江戸線飯田橋駅下車 徒歩 3 分
- 都営地下鉄三田線水道橋駅下車 徒歩 5 分
- 東京メトロ丸の内線・南北線後楽園駅下車 徒歩 7 分
- 東京メトロ有楽町線・東西線飯田橋駅下車 徒歩 10 分

【住所】東京都文京区後楽 1-4-10 住宅金融支援機構本店 1F



浦安キャンパス：外国語 / 経済 / 不動産 / ホスピタリティ・ツーリズム学部

〒279-8550 千葉県浦安市明海 1 丁目 不動産学部

TEL : 047-355-5120

http://www.meikai.ac.jp

不動産学シンポジウム 2019

不動産 × データ

不動産市場の明日を読み解く

～ 不動産データサイエンス時代の新たな幕開け ～

開催日時：令和元年 11 月 6 日 (水)

開催時間：13 時 15 分 ～ 16 時 45 分

開催場所：すまい・るホール (定員 200 名程度)

定員 200 名程度
参加費無料

お申込みは、氏名、所属、電話番号をご記入の上、
10月25日(金)までにお願致します。
当該申込みをもってご予約は完了致します。
当日のご来場をお待ち申し上げます。

【申込先】 E-mail : m-sympo@meikai.ac.jp
F A X : 047-355-5280

主催：明海大学不動産学部

共催：一般財団法人日本不動産研究所

公益財団法人不動産流通推進センター

独立行政法人住宅金融支援機構

開会のあいさつ



明海大学 学長
安井 利一

1981 年 城西歯科大学大学院歯学専攻科博士課程修了
1997 年 明海大学歯学部教授に就任、2002 年 明海大学歯学部
付属明海大学病院院長、2006 年 明海大学副学長、2008 年 4 月
より 明海大学学長、学校法人明海大学理事。

日本私立大学協会教務研究委員会・委員長、日本スポーツ歯科
医学会・理事長、日本臨床スポーツ医学会・理事、平成 22 年
度文部科学省学校歯科保健参考資料「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり」
改定委員会座長。

明海大学博士 (歯学)

本学不動産学部は、1992 年にわが国で唯一の不動産学部として
誕生しました。これまでに不動産学を修得した 5,500 人を超える
卒業生を、社会に輩出して参りました。

不動産学は、国民生活の環境を創造し、公・私にわたる健全な
資産形成を図ることを目的として「自然・土地・建物と人間との
関わり」を解明していく学問です。

今回の「不動産学シンポジウム」では、ビッグデータに代表される
近年の情報化の進展に鑑み、様々なデータを用いたデータサイエ
ンスとして、不動産市場の現状を分析し、解説したいと考えて
おります。

最後に、本シンポジウムの開催に際して、一般財団法人日本不動産
研究所及び公益財団法人不動産流通センターのお力添えを賜り
ましたことを申し添えます。

多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

総合同会



明海大学 不動産学部長
中城 康彦

1979 年 名古屋工業大学大学院工学研究科修士課程建築学
専攻修了。

福手健夫建築都市計画事務所、一般財団法人日本不動産研究所、
Vernz America, Inc. 勤務を経て株式会社スペースフロン
ティア代表取締役。1996 年より明海大学不動産学部。
最高裁判所総合評価審査委員会委員長、国土交通省中古住宅の
流通促進・活用に関する研究会座長。

千葉大学博士 (工学)、一級建築士、不動産鑑定士、FRICS

I. 基調講演の部

13:20 - 14:20

基調講演 1 | 14:20 - 14:50 | 30分

「地価公示データからみる 不動産市場の現在・過去・未来」

国土交通省地価調査課地価公示室

基調講演 2 | 13:50 - 14:20 | 30分

「データで読み解く日米の住宅市場」

住宅金融支援機構 国際・調査部長

小林 正宏 氏



1988年東京大学法学部卒業、住金融庫入庫。海外経済協力基金マニラ事務所駐在員、国際協力銀行副参事役、ファニーメイ（連邦抵当金庫）派遣等を経て、2018年より現職。2012年日本不動産学会賞（論説賞）受賞。世界銀行、国際住宅金融連合、日米住宅金融円卓会議等、国内外での講演多数。著書「通途の品格」（中央公論新社）、「世界金融危機はなぜ起こったか」（東洋経済新報社）、「日米欧の住宅市場と住宅金融」（金融財政事情研究会）、「The Housing Challenge in Emerging Asia」（Asian Development Bank Institute）等、13冊（共著含む）。アジア太平洋住宅金融連合理事。早稲田大学商科大学院経営管理研究科非常勤講師。

II. 研究報告の部

14:30 - 15:45

ストック社会における BIM を用いた 不動産鑑定評価の可能性について

15分

一般財団法人日本不動産研究所 研究部 主任研究員

立石 正則



2002年豊橋技術科学大学大学院工学研究科建設工学専攻修了。同年、株式会社大林組に入社し建築工事施工管理業務に従事。2009年 NTT 都市開発株式会社に入社し、収益用不動産のプロパティマネジメント業務に従事。2015年一般財団法人日本不動産研究所に入所後、本社事業部にて東京都内の不動産鑑定実務を経て、2019年現職（同東海支社で不動産鑑定評価実務を兼務）。（公社）日本不動産鑑定士協会連合会調査研究委員会・建物の精緻化検討小委員会専門委員、不動産鑑定士・一級建築士。

J-REIT データからみた 不動産キャップ・レートの変動特性

15分

一般財団法人日本不動産研究所 研究部 主任研究員

金 東煥



2011年京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了（経済学博士）。2011年～2013年、駐日本韓国大使館経済主任研究員。2013年～現在一般財団法人日本不動産研究所研究部。最近の執筆：金東煥・小松広明（2019）、「日本オフィス市場におけるディスカウントレートの地域間の長期均衡関係分析」、『明海大学不動産学部論集』、vol.27、pp.39-49。金東煥・眞繁陽子・佐野洋輔（2019）、「東京・大阪・名古屋のオフィス賃料予測（2018-2020年、2025年）」、2018秋について、「不動産研究」、61(1)、pp.62-72。金東煥（2017）、「インターネット検索量データと経済指標との関係分析：不動産関連指標を中心に」、『不動産研究』、59(2)、pp.58-69。金東煥・小松広明（2016）、「首都圏におけるマンション価格と賃料の長期均衡関係分析」、『不動産研究』、58(4)、pp.84-97。京都大学博士（経済学）

事業者の質的データによる 不動産ストック有効活用の現状と課題

15分

公益財団法人不動産流通推進センター 研究部 研究員

麻 剣英



2017年明海大学大学院不動産学研究科博士後期課程修了。同年、公益財団法人不動産流通推進センター不動産流通センター研究所入所。不動産流通に関するデータの分析をはじめとする調査研究業務に携わり、レイズ関連の「指定流通機構の物件動向」及び「指定流通機構の活用状況について」のデータ集計・公表、「不動産業統計集」の編集・公表業務を担当。また、不動産ストックの活用に関する研究を実施。明海大学博士（不動産学）

居住者の表明選好データを用いた 共同住宅におけるメンテナンスの効果測定

15分

明海大学 不動産学部 准教授

小松 広明



1996年名古屋大学大学院工学研究科地圏環境工学専攻博士前期課程修了。同年（株）東海総合研究所（現三菱UFJリサーチ & コンサルティング）入社、2001年財団法人日本不動産研究所入所、研究部主席研究員を経て2014年4月より現職。2018年日本不動産学会賞論文賞 受賞。資産評価政策学会 理事。筑波大学博士（経営学）、不動産鑑定士、技術士（建設部門）

企業会計データからみた不動産の市場構造

15分

明海大学 不動産学部 教授

山本 卓



1984年中央大学法学部法律学科卒業、同年一般財団法人日本不動産研究所入所、2006年埼玉大学大学院経済科学研究科博士後期課程修了。2014年に明海大学に移籍し、現在に至る。近書に、「投資不動産会計と公正価値評価」[2015年、創成社]（資産評価政策学会著作賞受賞）、「グローバル社会と不動産価値」[2017年、創成社]（日本不動産学会著作賞（実務部門）受賞）等がある。埼玉大学博士（経済学）、不動産鑑定士

閉会の辞

16:30 - 16:35

5分

公益財団法人 不動産流通推進センター 研究理事

三吉 卓也

